

新潟県中越地震 防災会議（第一回） 議事録

日時：平成16(2004)年10月27日 13:30~16:30

場所：技術士会 B会議室

出席者：大島、山口、戸村、内藤、犬伏、竹下事務局長・専務理事、関口（総務課）。

配布資料：

資料—1：社団法人日本技術士会 防災特別委員会 関連諸規定（事務局作成）

資料—2：「新潟県中越地震」防災会議（第一回） 2004.10.27

資料—3：「新潟中越地震」技術士会防災会議 2004年10月27日

資料—4：大規模災害対応の各種要領について 030617 緊急WG

資料—5：技術士会の「新潟中部地震」の対応に関する調査のお願い 防災特別委員会

1. 防災会議の設置と規約の確認
本日付きで（社）日本技術士会 平成16年新潟県中越地震 防災会議（略称：新潟県中越地震 防災会議）を設置した。
関連する規定について確認した。
2. 新潟県中越地震 防災会議 の構成：
議長：防災特別委員会委員長・大島 久
副議長：議長が委員から選出：山口 豊
委員：防災特別委員会・委員（大島と山口を除く、氏名は省略）
技術士会・事務局長・専務理事・竹下 功
議長から委嘱された防災専門家：三船 康道
事務局：総務課・関口
3. 北陸支部との協議（中山輝也支部長は日韓技術士会議で米子市へ出張中、10/27まで）
支部の会員の被災状況について。
支部としての災害対応について。
防災会議 新潟県中越地震 現地派遣調査団（略称：新潟県中越地震 現地派遣調査団）との合同調査について。
4. 新潟県中越地震 現地派遣調査団について
調査団を派遣することを決定した。
現地の状況を出来るだけ把握し、問題点・課題を探り、課題への対応の提言を行う。
現地調査は、情報収集の一貫の一つである。
学会等の情報の活用、防災機関の情報、会員の意見、提言を含め、総合的な課題整理し、提言を行えるようにする。完全にはいかないが、そのステップアップを行うことに意義がある。
重要な課題があれば、会員へ更なるアンケートを行う。
派遣の規模は、会長意向もあり、最小限とする。北陸支部との混成で、6名程度とする。
団員構成は議長が決定する。
スケジュールは、2泊3日程度。
余震が続いているので、安全第一とする。
事務局が用意するもの：身分証明書、保険、ヘルメット、作業上着、腕章、雨具、マスクなど。
衛星非常携帯電話を用意する。
技術士会本部に 日本技術士会「新潟県中越地震」防災会議の看板を掲示する。
5. 資料—5により、技術士会メール会員へ、アンケートをだす。（北陸支部向けとその他向けにする）
技術士会 HP 上に作成することを提案された。
6. 次回会議
11月4日13:00から新潟県中越地震 防災会議（第二回）を開催する。
議題は現地派遣調査団の内容について確認する。

以上 （文責：大島）